

II 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

病院の1日平均在院患者数は1,287,181人で、前年に比べ0.9%減少している。

このうち、「精神科病院」は229,296人で、前年に比べ1.4%減少し、「一般病院」は1,057,821人で、前年に比べ0.8%減少している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は74,567人、「一般病床」は682,276人、「療養病床」は298,469人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は66,803人となっている。

また、1日平均新入院患者数は41,285人、1日平均退院患者数は41,323人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は9,037人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は3,362人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表12 年間患者数，病院の種類－病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

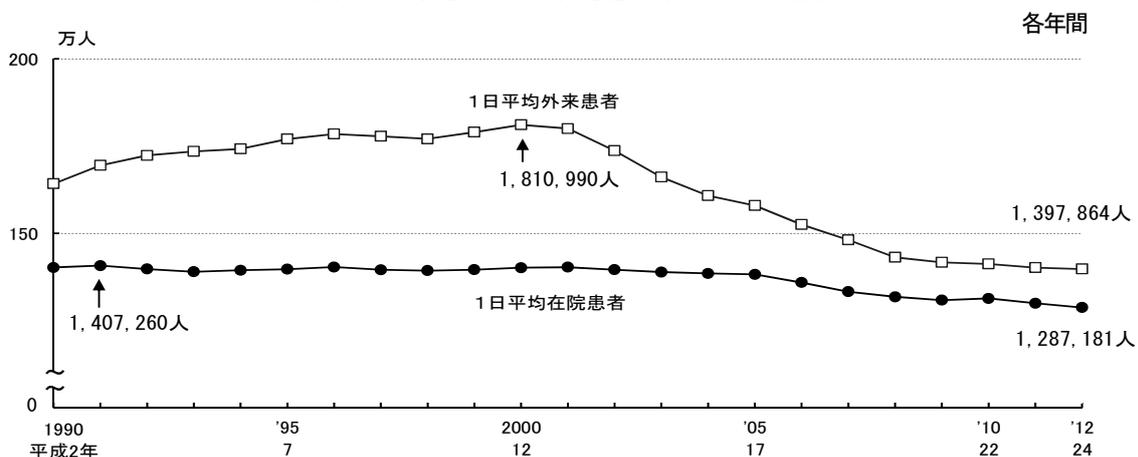
	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	対前年 増減率	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	対前年 増減率	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	対前年 増減率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
病院 総数 ¹⁾	1 287 181	1 299 322	△ 0.9	41 285	40 608	1.7	41 323	40 618	1.7
精神科病院	229 296	232 473	△ 1.4	692	695	△ 0.4	701	705	△ 0.6
一般病院	1 057 821	1 066 761	△ 0.8	40 593	39 913	1.7	40 622	39 913	1.8
精神病床	74 567	74 980	△ 0.6	340	326	4.3	349	337	3.6
感染症病床	43	45	△ 4.4	5	5	0.0	5	4	25.0
結核病床	2 466	2 766	△ 10.8	36	40	△ 10.0	35	39	△ 10.3
一般病床	682 276	686 705	△ 0.6	39 224	38 566	1.7	38 660	37 979	1.8
療養病床 (再掲)	298 469	302 265	△ 1.3	987	976	1.1	1 573	1 554	1.2
介護療養病床	66 803	71 441	△ 6.5	135	142	△ 4.9	175	182	△ 3.8
療養病床を有する診療所									
療養病床 (再掲)	9 037	9 924	△ 8.9	57	64	△ 10.9	75	85	△ 11.8
介護療養病床	3 362	3 718	△ 9.6	23	30	△ 23.3	27	34	△ 20.6

注：1) 病院の総数には結核療養所を含む。

2) 月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

3) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。

(2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,397,864人で、前年に比べ0.3%減少している。

このうち、「精神科病院」は57,216人で、前年に比べ0.2%増加し、「一般病院」は1,340,643人で、前年に比べ0.3%減少している。(表2、図1)

人口10万対1日平均外来患者数は1,096.2人で、前年(1,096.8人)に比べ0.6人減少している。

都道府県別にみると、高知県(1,761.7人)が最も多く、次いで香川県(1,546.9人)となっており、静岡県(832.3人)、神奈川県(880.9人)などが少なくなっている。(図2)

(参考)

統計表12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表14 都道府県-指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 病院の1日平均外来患者数

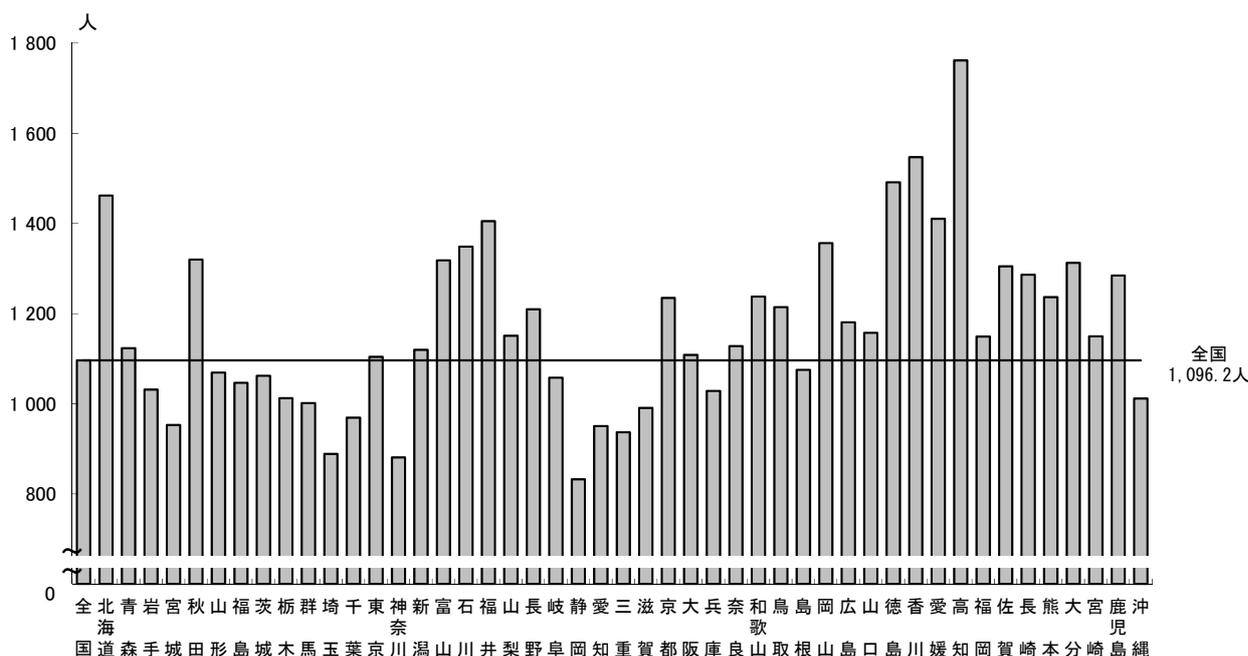
	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	
病院	人	人	%
総数 ¹⁾	1 397 864	1 401 669	△ 0.3
精神科病院	57 216	57 085	0.2
一般病院	1 340 643	1 344 579	△ 0.3

注：1) 総数には結核療養所を含む。

2) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図2 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数

平成24(2012)年 年間



(3) 病院の都道府県別にみた1日平均在院患者数

病院の1日平均在院患者数について病床の種類別構成割合をみると、「精神病床」23.6%、「療養病床」23.2%、「一般病床」53.0%などとなっている。

これを都道府県別にみると、「精神病床」の割合が高いのは宮崎県(34.4%)、「療養病床」は高知県(40.6%)、「一般病床」は滋賀県(60.6%)となっている。(図3)

人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は238.3人で、前年(240.6人)に比べ2.3人減少しており、「一般病床」は535.1人で、前年(537.3人)に比べ2.2人減少している。「療養病床」は234.1人で、前年(236.5人)に比べ2.4人減少している。

これを都道府県別にみると、「精神病床」は鹿児島県(534.9人)が最も多く、次いで長崎県(503.9人)となっており、神奈川県(132.9人)、滋賀県(146.7人)などが少なくなっている。「一般病床」は高知県(833.0人)が最も多く、次いで大分県(816.5人)となっており、埼玉県(364.2人)、神奈川県(388.1人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(852.3人)が最も多く、次いで山口県(627.7人)となっており、宮城県(113.6人)、神奈川県(132.3人)などが少なくなっている。「介護療養病床」は高知県(282.2人)が最も多く、次いで富山県(201.0人)となっており、山形県(1.6人)、宮城県(7.3人)などが少なくなっている。(図4)

(参考)

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表14 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

統計表16 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

図3 病院の都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

平成24(2012)年 年間

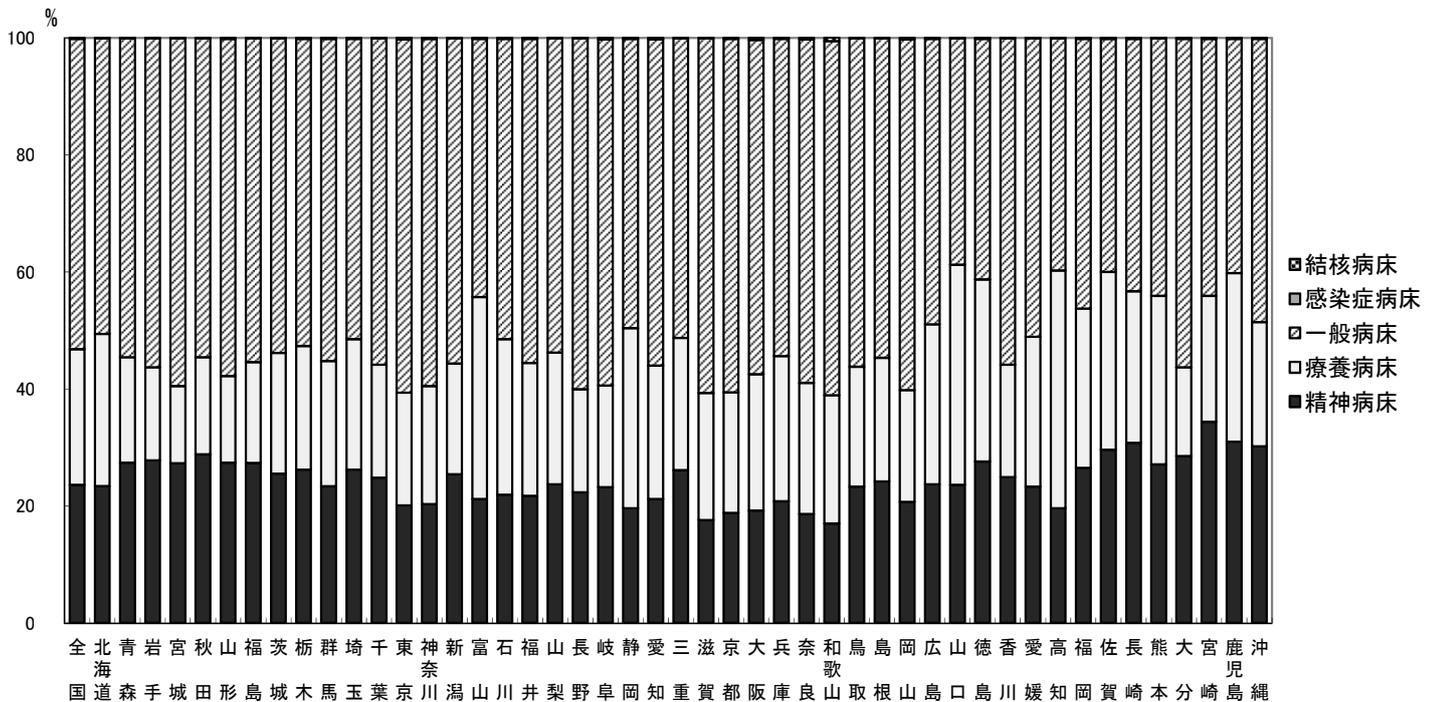
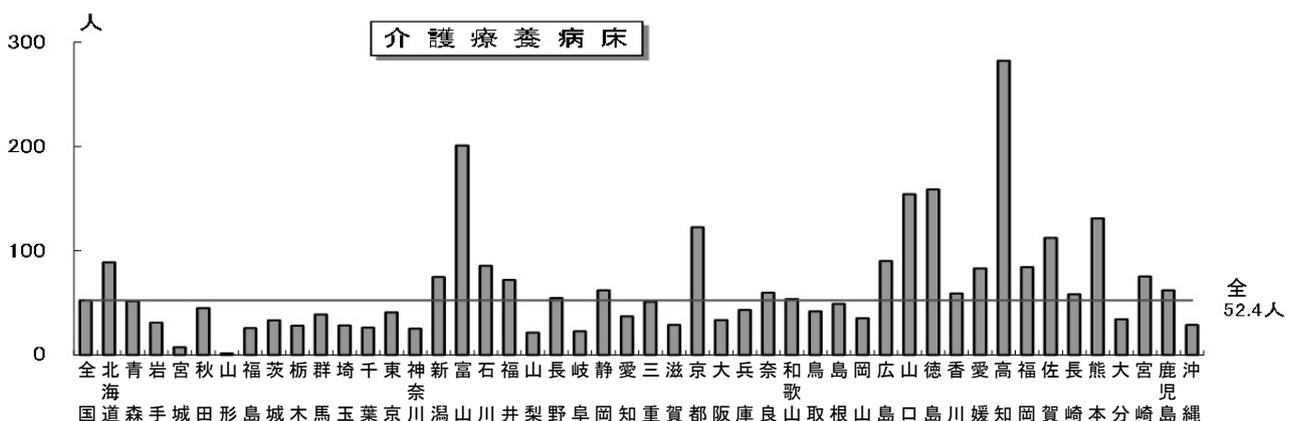
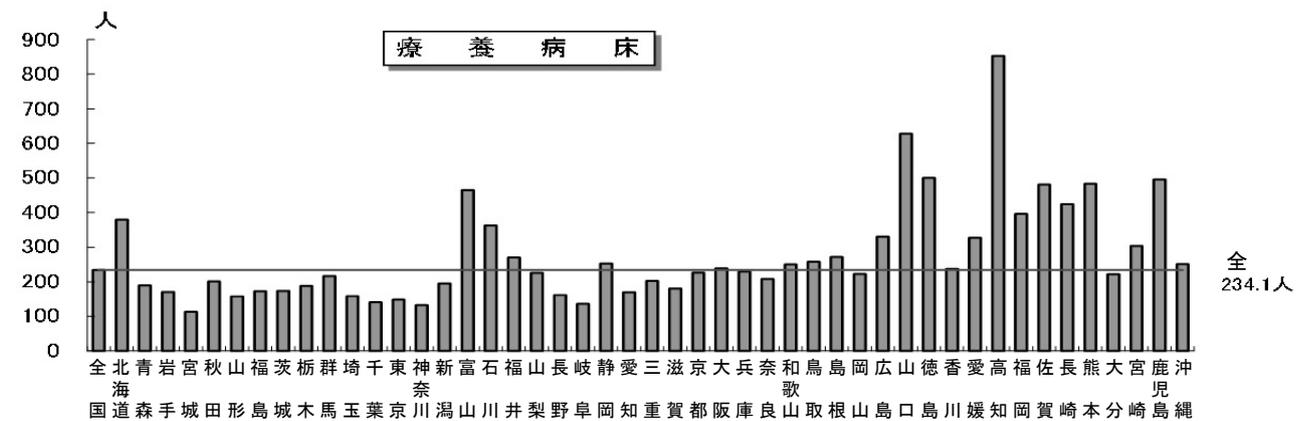
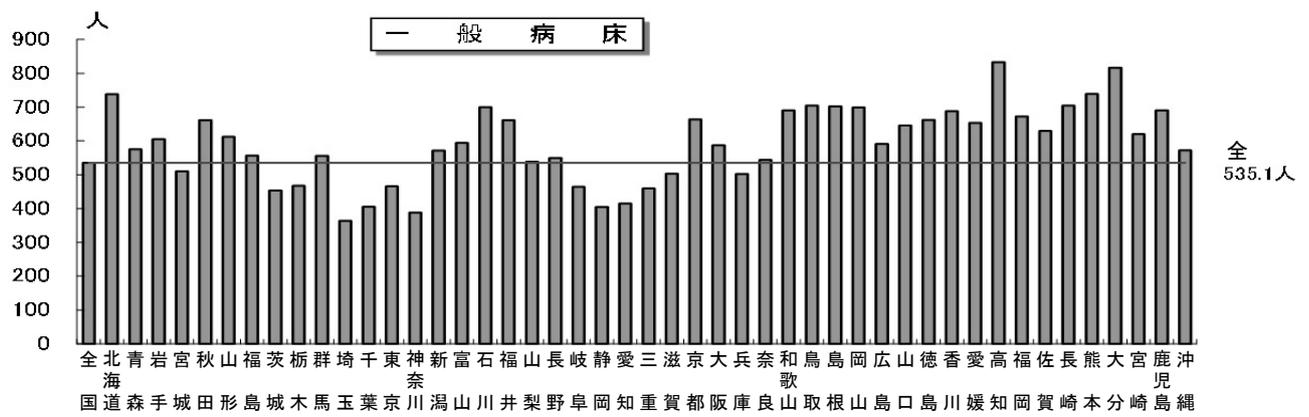
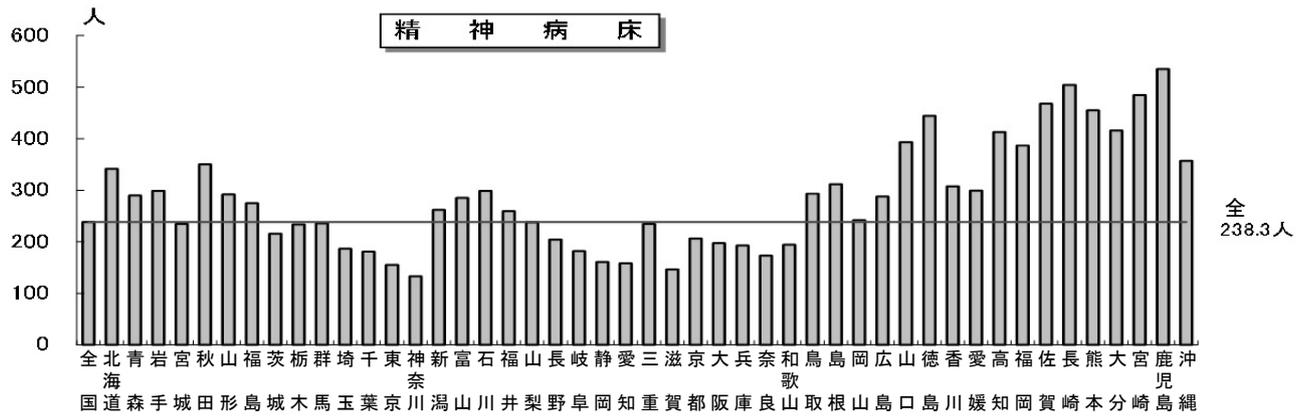


図4 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数

平成24(2012)年 年間



2 病床利用率

病院の病床利用率は 81.5%で、前年に比べ 0.4 ポイント低下している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は 88.7%で前年に比べ 0.4 ポイント低下し、「一般病床」は 76.0%で前年に比べ 0.2 ポイント低下している。「療養病床」は 90.6%で前年に比べ 0.6 ポイント低下し、「介護療養病床」は 93.9%で前年に比べ 0.7 ポイント低下している。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は 66.9%で、「介護療養病床」は 77.2%となっている。(表 3)

(参考) 統計表 13 人口 10 万対 1 日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表 3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		対前年 増減
	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	
	%	%	
病院			
全病床	81.5	81.9	△ 0.4
精神病床	88.7	89.1	△ 0.4
感染症病床	2.4	2.5	△ 0.1
結核病床	34.7	36.6	△ 1.9
一般病床	76.0	76.2	△ 0.2
療養病床	90.6	91.2	△ 0.6
介護療養病床	93.9	94.6	△ 0.7
療養病床を有する診療所			
療養病床	66.9	69.2	△ 2.3
介護療養病床	77.2	78.3	△ 1.1

注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。

3 平均在院日数

(1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は31.2日で、前年に比べ0.8日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は291.9日で前年に比べ6.2日短く、「一般病床」は17.5日で前年に比べ0.4日短くなっている。「療養病床」は171.8日で前年に比べ3.3日短くなっており、「介護療養病床」は307.0日で、前年に比べ4.2日短くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は106.9日で、「介護療養病床」は109.3日となっている。(表4、図5)

(参考) 統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

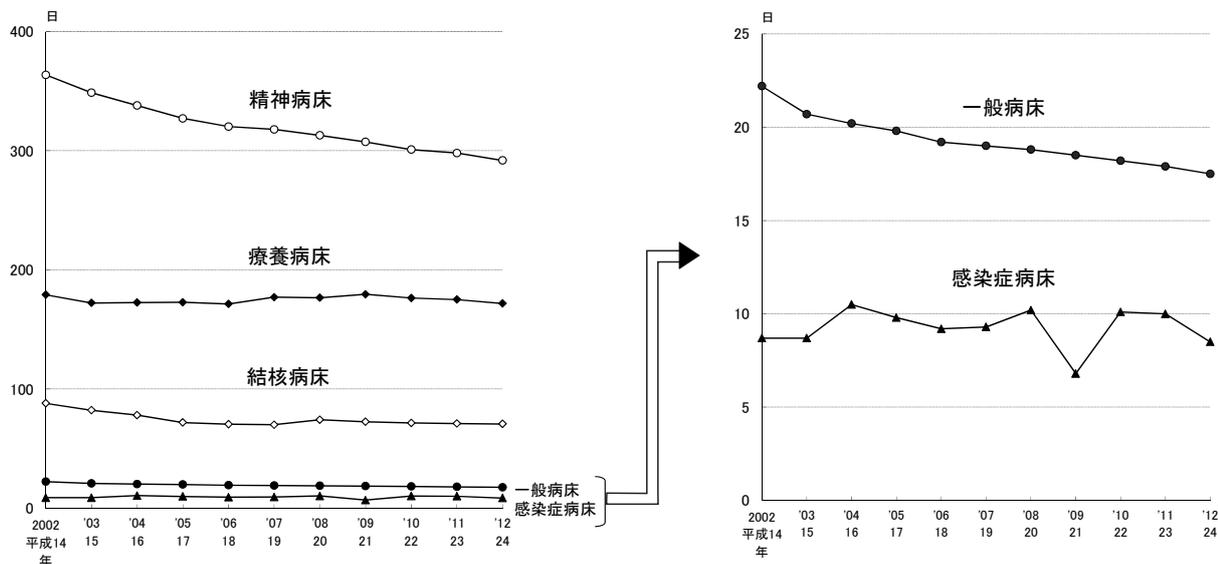
表4 病床の種類別にみた平均在院日数

	平均在院日数 ¹⁾		対前年 増減数
	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	
病院			
全病床	31.2	32.0	△ 0.8
精神病床	291.9	298.1	△ 6.2
感染症病床	8.5	10.0	△ 1.5
結核病床	70.7	71.0	△ 0.3
一般病床	17.5	17.9	△ 0.4
療養病床	171.8	175.1	△ 3.3
介護療養病床	307.0	311.2	△ 4.2
介護療養病床を除く全病床	29.7	30.4	△ 0.7
療養病床を有する診療所			
療養病床	106.9	103.3	3.6
介護療養病床	109.3	98.2	11.1

注：1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図5 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



注：1) 「一般病床」は、平成14、15年は「一般病床」及び「経過的古その他の病床(経過的古療養型病床群を除く。)」である。

2) 「療養病床」は、平成14、15年は「療養病床」及び「経過的古療養型病床群」である。

3) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。

(2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県(50.7日)が最も長く、神奈川県(24.0日)が最も短くなっている。「精神病床」は徳島県(424.4日)が最も長く、東京都(209.6日)が最も短くなっており、「一般病床」では高知県(23.0日)が最も長く、神奈川県(14.8日)が最も短くなっている。「療養病床」は富山県(266.1日)が最も長く、鳥取県(101.5日)が最も短くなっている。また、「介護療養病床」は秋田県(544.7日)が最も長く、山形県(21.8日)が最も短くなっている。

(表5、図6)

(参考) 統計表 15 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数

表5 病院の平均在院日数

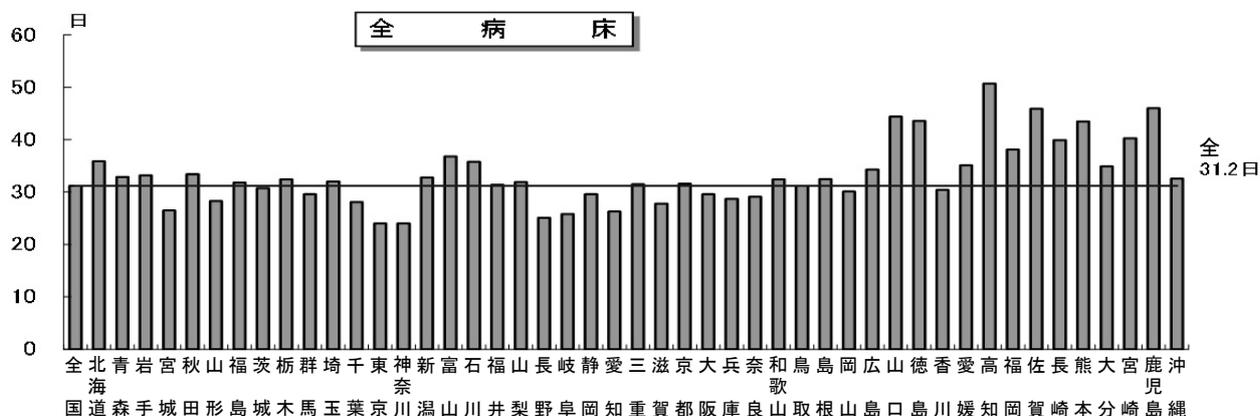
(単位:日)		平成24(2012)年 年間									
	全病床	精神病床		一般病床		療養病床		介護療養病床			
全国	31.2	291.9		17.5		171.8		307.0			
長い県	高 知	50.7	徳 島	424.4	高 知	23.0	富 山	266.1	秋 田	544.7	
	鹿 児 島	46.0	鹿 児 島	418.6	熊 本	21.1	北 海 道	239.1	栃 木	480.9	
	佐 賀	45.9	大 分	412.2	佐 賀	20.8	京 都	212.4	沖 縄	460.0	
	山 口	44.4	栃 木	393.1	鹿 児 島	20.6	神 奈 川	211.7	長 崎	459.6	
	徳 島	43.6	山 口	388.5	大 分	20.6	山 口	211.6	山 口	448.8	
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
短い県	愛 知	26.3	岡 山	238.3	長 野	15.9	長 崎	111.2	宮 城	139.1	
	岐 阜	25.8	青 森	237.5	静 岡	15.6	山 形	108.6	山 梨	137.1	
	長 野	25.1	高 知	227.3	愛 知	15.4	宮 城	108.5	長 野	122.3	
	東 京	24.0	福 井	224.4	東 京	15.2	長 野	106.9	鳥 取	76.3	
	神 奈 川	24.0	東 京	209.6	神 奈 川	14.8	鳥 取	101.5	山 形	21.8	
(最長—最短)	26.7	214.8		8.2		164.6		522.9			

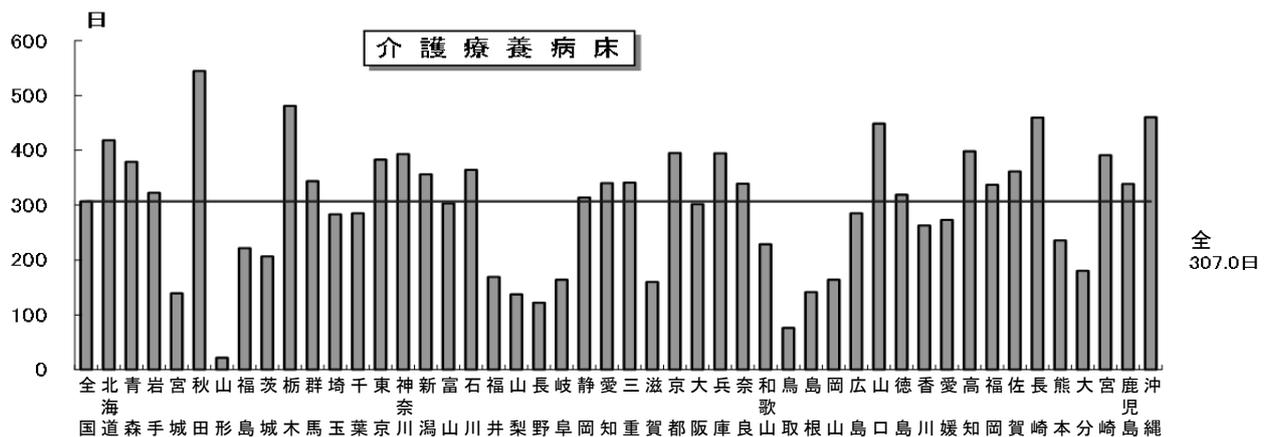
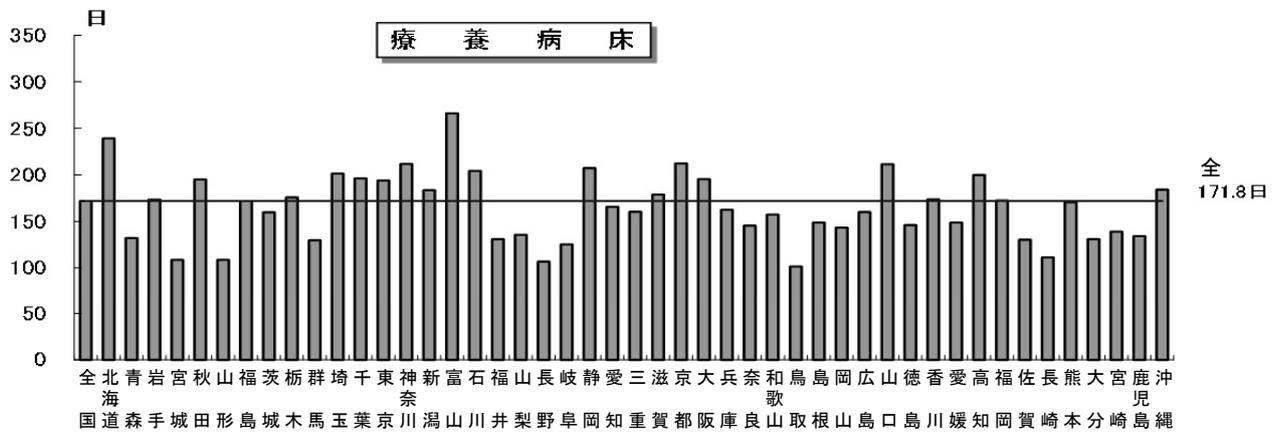
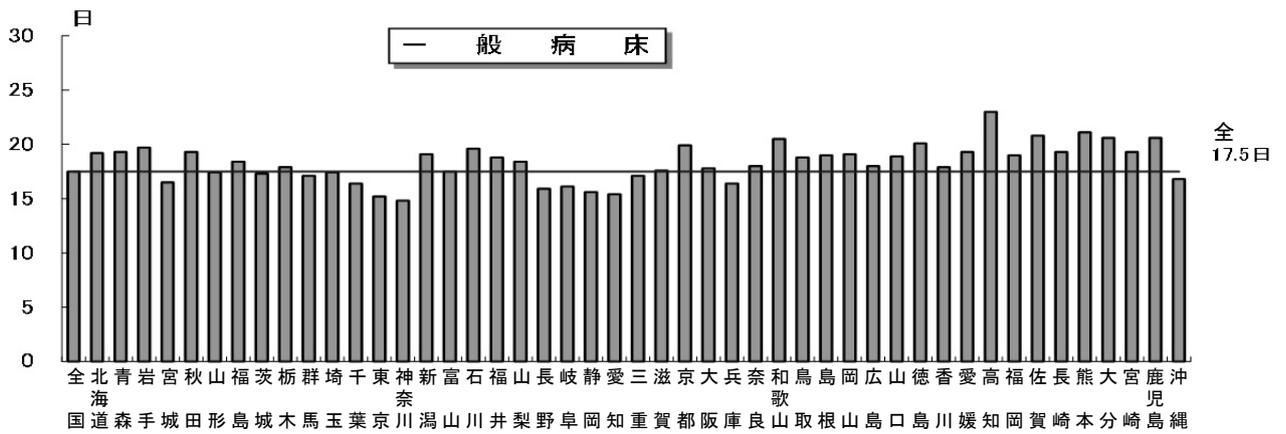
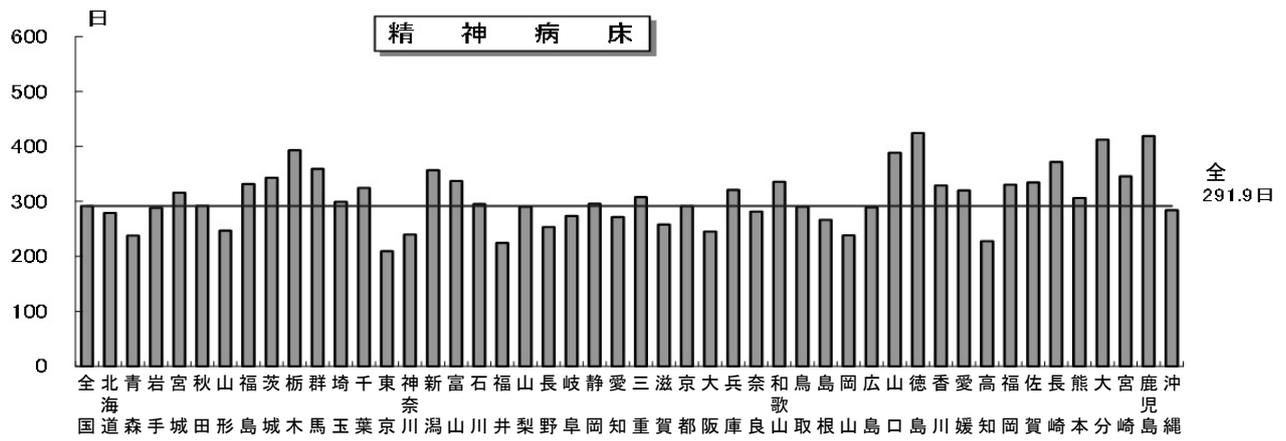
注: 1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2) 小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

図6 病院の都道府県別にみた平均在院日数

平成24(2012)年 年間





4 病院の従事者

(1) 病院の職種別にみた従事者数

平成24年10月1日現在、病院の従事者総数（非常勤職員を含む）は、常勤換算で1,958,017.8人となっている。

従事者数を職種別にみると、「医師」は202,825.2人、そのうち「医師（常勤）」は163,528人で、前年に比べ3,554人（2.2%）増加、「医師（非常勤）」は39,297.2人で、前年に比べ228.0人（0.6%）減少している。

「薬剤師」は44,353.9人で、前年に比べ1,551.0人（3.6%）増加している。

「看護師」は725,559.8人で、前年に比べ20,933.1人（3.0%）増加、「准看護師」は147,800.5人で、前年に比べ5,890.1人（3.8%）減少している。（表6）

表6 病院の職種別にみた従事者数

各年10月1日現在

	総 数 ¹⁾				精神科病院 (再掲)	一般病院 (再掲)	医育機関 (再掲)
	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	対 前 年				
			増減数	増減率			
	人	人	人	%	人	人	人
総 数	1 958 017.8	1 909 736.9	48 280.9	2.5	171 059.2	1 786 905.8	193 451.0
医 師	202 825.2	199 499.2	3 326.0	1.7	8 875.5	193 945.1	46 204.8
常 勤	163 528	159 974	3 554	2.2	6 371	157 154	39 057
非 常 勤	39 297.2	39 525.2	△ 228.0	△ 0.6	2 504.5	36 791.1	7 147.8
歯 科 医 師	10 115.6	10 112.1	3.5	0.0	129.0	9 986.6	7 066.2
常 勤	7 863	8 106	△ 243	△ 3.0	51	7 812	5 442
非 常 勤	2 252.6	2 006.1	246.5	12.3	78.0	2 174.6	1 624.2
薬 剤 師	44 353.9	42 802.9	1 551.0	3.6	3 033.9	41 317.0	5 118.6
保 健 師	4 959.2	4 747.7	211.5	4.5	68.4	4 890.8	817.0
助 産 師	21 072.4	20 121.9	950.5	4.7	2.8	21 069.6	3 145.3
看 護 師	725 559.8	704 626.7	20 933.1	3.0	51 079.1	674 470.3	82 931.2
准 看 護 師	147 800.5	153 690.6	△ 5 890.1	△ 3.8	32 087.8	115 706.5	480.9
看護業務補助者	198 343.3	196 894.2	1 449.1	0.7	30 318.4	168 015.9	5 646.5
理学療法士（PT）	56 851.2	51 800.1	5 051.1	9.8	164.5	56 686.7	1 605.7
作業療法士（OT）	35 577.7	33 020.5	2 557.2	7.7	5 929.7	29 648.0	732.1
視能訓練士	3 633.4	3 435.8	197.6	5.8	-	3 633.4	706.8
言語聴覚士	11 530.5	10 650.5	880.0	8.3	24.8	11 505.7	452.7
義肢装具士	62.9	63.7	△ 0.8	△ 1.3	-	62.9	-
歯科衛生士	4 850.1	4 636.7	213.4	4.6	125.7	4 724.4	1 024.5
歯科技工士	753.0	750.3	2.7	0.4	4.8	748.2	346.5
診療放射線技師	40 603.2	39 629.2	974.0	2.5	530.0	40 072.2	4 758.5
診療エックス線技師	231.2	244.4	△ 13.2	△ 5.4	19.1	212.1	1.0
臨床検査技師	50 665.4	49 772.1	893.3	1.8	943.4	49 721.0	6 983.3
衛生検査技師	148.0	141.6	6.4	4.5	3.2	144.8	33.1
臨床工学技士	15 504.6	14 585.8	918.8	6.3	6.8	15 497.8	1 677.1
あん摩マッサージ指圧師	1 905.7	2 103.2	△ 197.5	△ 9.4	18.8	1 886.9	24.8
柔道整復師	536.4	564.8	△ 28.4	△ 5.0	2.0	534.4	2.0
管理栄養士	19 745.4	18 824.3	921.1	4.9	2 039.4	17 703.0	1 116.9
栄養士	5 299.6	5 486.7	△ 187.1	△ 3.4	958.1	4 341.5	238.5
精神保健福祉士	8 090.7	7 722.6	368.1	4.8	5 784.7	2 306.0	111.0
社会福祉士	7 649.9	6 767.3	882.6	13.0	62.5	7 586.4	309.8
介護福祉士	38 200.0	34 942.4	3 257.6	9.3	2 540.0	35 660.0	78.0
その他の技術員	17 334.5	16 692.1	642.4	3.8	2 390.7	14 943.8	1 522.3
医療社会事業従事者	9 118.7	8 838.7	280.0	3.2	759.0	8 359.7	336.9
事務職員	194 005.7	185 824.7	8 181.0	4.4	10 913.9	183 084.8	16 372.7
その他の職員	80 690.1	80 744.1	△ 54.0	△ 0.1	12 243.2	68 440.3	3 606.3
	実	人	員				
薬 剤 師	46 883	45 398	1 485	3.3	3 365	43 515	5 175
保 健 師	5 115	4 924	191	3.9	72	5 043	822
助 産 師	21 957	21 023	934	4.4	3	21 954	3 187
看 護 師	756 909	734 562	22 347	3.0	53 326	703 572	83 956
准 看 護 師	160 659	166 780	△ 6 121	△ 3.7	33 598	127 054	512

注：1)病院の総数には結核療養所を含む。

(2) 病院の職種別にみた100床当たり常勤換算従事者数

病院の100床当たり常勤換算従事者数は124.1人で、前年(120.6人)に比べ3.5人増加している。

病院の種類別にみると、精神科病院は67.2人、一般病院は135.0人となっている。

職種別にみると、「医師」は12.9人で、前年(12.6人)に比べ0.3人増加し、「看護師」は46.0人で、前年(44.5人)に比べ1.5人増加している。「准看護師」は9.4人で、前年(9.7人)に比べ0.3人減少している。(表7)

(参考) 統計表17 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた病院の常勤換算従事者数及び100床当たり常勤換算従事者数

表7 病院の種類・主な職種別にみた100床当たり常勤換算従事者数

(単位:人)

各年10月1日現在

		総数	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	診療放射線技師・ 診療エックス線技師	臨床検査技師・ 衛生検査技師	管理栄養士・ 栄養士	その他
平成24年 (2012)	総数	124.1	12.9	0.6	2.8	46.0	9.4	2.6	3.2	1.6	45.0
	精神科病院	67.2	3.5	0.1	1.2	20.1	12.6	0.2	0.4	1.2	28.1
	結核療養所	56.8	4.9	-	3.2	11.2	6.7	1.1	1.1	3.2	25.4
	一般病院	135.0	14.7	0.8	3.1	51.0	8.7	3.0	3.8	1.7	48.3
平成23年 (2011)	総数	120.6	12.6	0.6	2.7	44.5	9.7	2.5	3.2	1.5	43.3
	精神科病院	66.7	3.4	0.1	1.2	19.6	12.9	0.2	0.4	1.2	27.7
	結核療養所	77.0	4.8	-	3.2	20.5	10.9	1.1	1.1	3.2	32.2
	一般病院	131.1	14.4	0.8	3.0	49.3	9.1	3.0	3.7	1.6	46.3

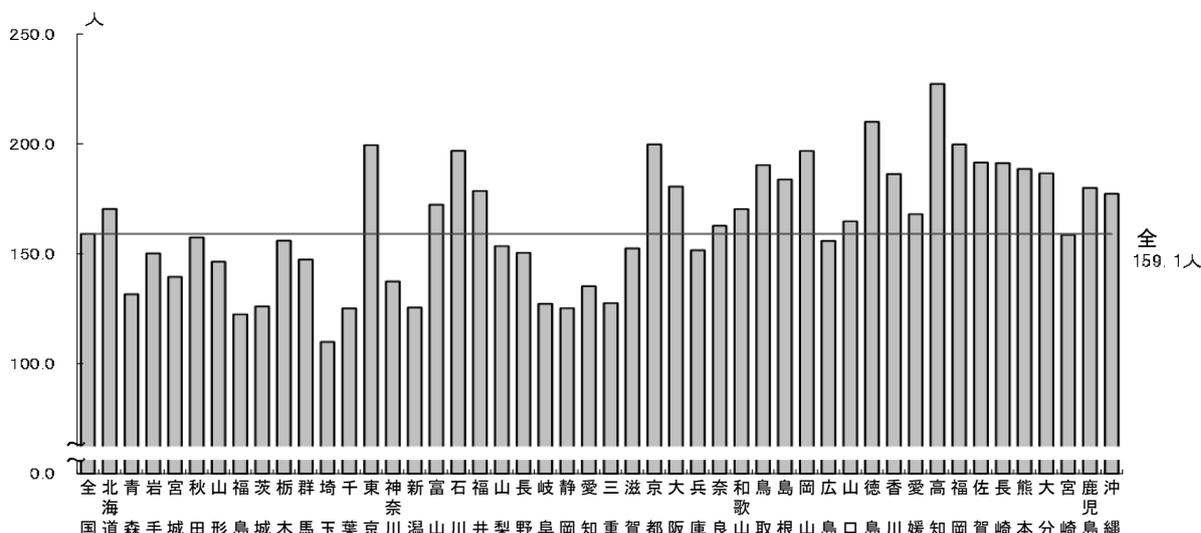
(3) 病院の都道府県別にみた人口10万対常勤換算医師数

人口10万対の常勤換算医師数を都道府県別にみると、高知県(227.2人)が最も多く、次いで徳島県(210.0人)、京都府(199.7人)、福岡県(199.7人)、東京都(199.4人)となっており、埼玉県(109.9人)が最も少なく、次いで福島県(122.5人)、千葉県(125.2人)、静岡県(125.3人)、新潟県(125.6人)となっている(図7)。

(参考) 統計表18 都道府県別にみた病院の常勤換算医師数及び人口10万対常勤換算医師数の年次推移

図7 病院の都道府県別にみた人口10万対常勤換算医師数

平成24(2012)年10月1日現在



(4) 病床規模別にみた1病院当たり常勤換算医師数

1病院当たり常勤換算医師数は23.7人で、前年(23.2人)に比べ0.5人増加している。

病床規模別に対前年増減数をみると、「900床以上」で14.5人と最も多く増加している。また、病床規模の区分別にみると300床未満の全ての区分において、対前年増減数が1.0人を下回っている。

(表8)

(参考) 統計表 20 病床規模別にみた1病院当たり常勤換算医師数の年次推移

表 8 病床規模別にみた1病院当たり常勤換算医師数

(単位:人)

各年10月1日現在

	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	対前年 増減数
総 数	23.7	23.2	0.5
20～29床	4.7	4.7	-
30～39	4.8	4.8	-
40～49	5.1	5.0	0.1
50～99	6.9	6.8	0.1
100～149	9.2	9.1	0.1
150～199	13.5	13.5	-
200～299	18.9	18.5	0.4
300～399	36.3	35.2	1.1
400～499	61.3	59.2	2.1
500～599	93.1	92.9	0.2
600～699	172.9	165.5	7.4
700～799	194.1	190.4	3.7
800～899	294.1	308.4	△ 14.3
900床以上	421.6	407.1	14.5